

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	舞鶴工場培養設備	階数	地上3F
建設地	京都府舞鶴市大字大波下小字久原	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	10人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,700時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 0.0	評価の実施日	2011年2月26日
敷地面積	6,493 m ²	作成者	井上真
建築面積	1,573 m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	2,268 m ²	確認者	小高茂



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
音環境: 2.8	機能性: 2.8	生物環境: 2.0
温熱環境: 3.0	耐用性・信頼性: 2.8	まちなみ・景観: 3.0
光・視環境: 3.1	対応性・更新性: 3.6	地域性・アメニティ: 2.0
空気環境: 3.0		

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の熱負荷: 1.8	水資源保護: 3.4	地球温暖化への配慮: 3.7
自然エネルギー: 3.0	非再生材料の使用削減: 3.3	地域環境への配慮: 2.3
設備システム効率化: 4.9	汚染物質回避: 3.0	周辺環境への配慮: 2.3
効率的運用: 3.0		

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>周囲に工場が立ち並ぶ中、道より放して建物を配置することによって、建物の圧迫感を和らげた。また、工場は無機質なイメージをもたれてしまいがちであるが、建物の配色によって、清潔さを演出しそして、建物周りを芝生を植えることによって、環境に配慮した建物にした。</p>	0
<p>Q1 室内環境 内装材はF☆☆☆☆を使用している。虫やカビの侵入を防ぐため、窓は無窓となっている。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 道路に面して緑地帯を設けた。建物周囲にも緑地を設け、外部環境の向上を図った。</p>
<p>LR1 エネルギー 高効率の器具、機器を採用した。断熱性能を考慮し、断熱性能の高い外壁材を使用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境 一般者と、荷捌き用の車の進入を別々にすることによって、交通負荷の抑制に配慮している。</p>
<p>Q2 サービス性能 全館禁煙にすることによって、人にも、建物にも優しい設計とした。維持管理のしやすい内装材を使用した。</p>	
<p>LR2 資源・マテリアル 設備器具は節水型を選択し、環境に配慮した。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された